

交換留学(派遣) 帰国報告書

| あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません) | |
|--|----------------------------|
| 留学先大学: | オーストラリア ウーロンゴン大学 |
| 留学先での所属学部・研究科: | 研究科に属さない |
| 留学先での在籍身分: | Exchange Student |
| 留学期間: | 2019年 7月 20日～ 2019年 12月 8日 |
| 神戸大学での所属学部/研究科: | 人間発達環境学研究科 |
| 学年(出発時): | M1 |
| 帰国日: | 2019/12/9 |
| 本報告書記入日: | 2019/12/10 |



1. 留学先大学について

| | | |
|-----|----------------------------------|---|
| 1-1 | 学年開始月日: | 3月 4日 |
| | 学年終了月日: | 11月 21日 |
| 1-1 | 学期: | ① 3月 4日～ 6月 27日 |
| | | ② 7月 29日～ 11月 21日 |
| | | ③ 月 日～ 月 日 |
| | | ④ 月 日～ 月 日 |
| 1-2 | 留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。 | Computer Science, Engineering, Business |
| 1-3 | 留学先大学のサポートについて記入ください。 | |
| | 語学面でのサポート: | GCP(Global Communication Program)やECG(English Conversation Program)といった、数名のネイティブEnglishスピーカーを交えた留学生同士が気軽に参加して交流できるプログラムが大学で開催されていた。その他、図書館でエッセイの添削サービスも無料で行われていた。 |
| | 勉学面でのサポート: | 授業によってはPass Sessionと呼ばれる、院生たちに授業の質問や課題のアドバイスをもらえるセッションが毎週開催されていた。その他、勉強に関する質問は講義中含めて気軽にできる。 |
| | 精神面でのサポート: | 無料のカウンセリングサービスがあったほか、テスト前にはStress Free Weekという勉強のストレスを和らげるイベントが開催されていた。 |
| | 住居・生活面でのサポート: | 各寮の受付が平日9時～5時まで空いており、それ以外の時間はStudent Leaderに電話することで24時間トラブルに対応できる状況となっていた。 |
| | 課外活動のサポート: | 特に参加していないので不明 |
| 1-4 | 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。 | |
| 1-5 | 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか? | いいえ |

2. 住居について

| | | |
|-----|--------------------------------------|--|
| 2-1 | 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等) | 住居の選択は留学生生活を大きく左右すると思うので、現地生の意見を聞ける機会があるならなるべく聞いておいた方がいいです。ネットで調べられる情報には限りがあるので、大学の担当者に現地生を紹介してもらうように頼むなどしてもいいかもしれません。 |
|-----|--------------------------------------|--|

3. 生活について

| | | |
|-----|--|---|
| 3-1 | インターネット接続環境について | |
| | 住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。 | 寮では自分の部屋含めて追加料金なしでWifiが利用可能 |
| | 大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。 | 大学内は全て大学のWifiが利用可能 |
| 3-2 | 医療について | |
| | 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。 | 通わなかった |
| 3-3 | 銀行口座等について | |
| | 留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等) | 友人とお金のやり取りをするのに便利なので、現地で銀行口座を開設(パスポート、COE、学生証が必要)。しかし、手数料は数百円かかるものの、口座を開設しなくても日本の銀行のキャッシュカードでお金の引き出しはできる。 |

| 4. 経費について(奨学金、留学費用) | | |
|---------------------|--|--|
| 4-1 | 奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等): | JASSO海外留学支援制度 |
| | 支給額(円/月): | 7万円 |
| | その他(渡航費等の支給): | |
| 4-2 | 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。) | |
| | 航空運賃: | 15万円 |
| | 住居費: | (月額) 9万円 × (留学月数) 5ヵ月 = 45万円 |
| | 食費: | (月額) 2万円 × (留学月数) 5ヵ月 = 10万円 |
| | 保険料: | 3万円 |
| | その他: | ビザ4万円、交際費月2万円×5ヵ月=10万円、その他生活費等 |
| | 合計(留学期間全体の費用): | 100万円 |
| 5. 異文化体験について | | |
| 5-1 | 留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。 | 移民や留学生がかなり多いので、留学生(非ネイティブEnglishスピーカー)にとっては比較的生活しやすい国だと思われま。社会習慣に関しても日本とそこまで大きな違いはない。強いて言うなら大学寮のルームシェアは男女共同がスタンダードなので、女性はあらかじめ確認することをお勧めします。 |
| | 大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。 | 街の教会で毎週英語教室が行われていて、そこに数名講師として参加された現地の方と交流をしたのと、友達などを通して大学をすでに卒業された方と交流を持つこともありました。 |
| | 課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。 | しなかった |
| | 留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等) | ウーロンゴンは比較的田舎で落ち着いた雰囲気のある街でした。治安も良いと言われており、夜中に一人で歩いても特に問題はなかったですが女性は流石に危ないそうです。留学生や移民も多いので人種差別等はほとんどありません。 |
| 6. 就職活動について | | |
| 6-1 | 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。 | シドニーで日本人留学生向けの就活イベントが2日間あり、そこで1社内定をいただきました。流れとしてはあらかじめ履歴書を書いて企業に送り、企業の方から面接の連絡があればイベント当日に面接を行うという内容です。その他、マイナビを通してオンラインで企業に応募できる機会があるので、書類に受かった企業とは何度かオンラインでの面接を行いました。 |
| 7. アドバイス、振り返り | | |
| 7-1 | 現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。 | 特になし |
| 7-2 | 現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。 | 美容系の商品(コンタクト、化粧品、ボディクリーム、ヘアワックスなど) |
| 7-3 | 留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等) | 語学力、文化的違いの根拠がわかるようになったこと、生活力、自信、外向性 |
| | 語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。 | 留学前:(30) 点 → 帰国後:(70) 点 |
| 7-4 | 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。 | 語学面で、特に最初の方に英語が聞き取れずに苦労したこと。それ以外に大きなトラブルはありませんでした。 |
| 7-5 | 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。 | 留学前の手続きに関しては、セミナーでの説明も明確で、質問等も迅速に対応していただきました。しかし、神戸大学への要望ではないのですが、現地での物価等を考えるとJASSOの支給額はもう少し多くいただけたとありがたかったかなという印象でした。 |
| 7-6 | 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。 | 強く勧めます。得るもの、学習するものは人それぞれですが、単身で文化が全く違う、新たな社会や人間関係に飛び込むというのは大きく成長するチャンスにあると思います。 |
| 7-7 | 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。 (5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価) | |
| | ・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか | 4 |
| | ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか | 5 |
| | ・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか | 4 |
| | ・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか | 3 |
| | ・全体として留学に係る費用は安かったと思ひ、満足しましたか | 3 |
| | ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか | 4 |
| | ・留学全体の総合的な評価 | 5 |

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

上述していますが、オーストラリアは移民や留学生の数がとても多く、日本人留学生にとってはかなり過ごしやすい環境だと感じました。アジア人、あるいはアジアの国にオリジンを持った方々も多いので、人種差別もほとんどなく、英語が上手く話せない人に対する風当たりが強くなることも少ないです。近所に日本食レストランやアジアマーケットもあり、その他色々な国々の食事が充実しているので食事が口に合わないということも回避できますし、交通ルールや使用している単位(メートルやリットル等)も日本と変わらず、時間関係も比較的きっちりしているので生活していて大きく困ることはありませんでした。デメリットを上げるとしたら、やはり物価が日本と比べると高い(特に家賃)ことと、僕の留学していたウーロンゴンは比較的田舎なので夜になるとバスがなくなったり、シドニーやメルボルンといった都会と比べるとやるべきことが少ないところくらいです。しかしオーストラリアでは学生ビザでもバイトができ、賃金も高いので長期でいられる方はバイトでお金をためることが可能ですし、田舎は田舎でオーストラリアの最大の魅力である大自然を存分に楽しめるので、そこまで大きな問題ではないかと思います。また、オーストラリアアクセントについては、なかにはアクセントが強い方がいたり、オーストラリア独自の言い回しも多いので、最初は少し苦労するかもしれませんが、しかし、オーストラリアを含めて、色々な地域のアクセントに触れる機会が多いので、総合的なコミュニケーション能力としてはむしろアメリカやカナダよりもつく可能性もあると思います。長々と書きましたが、人々の明るさや環境面から考慮しても、オーストラリアは留学先として強くお勧めできる国です。